

第2章 形勢判断

第1節 領域の変遷

領域は空点としての集まりをいい、未確定な領域だったものが、勢力地になり、確定地へと確定していきます。

盤上の空点は、一点の場所としてではなく、「連続した領域」として、認識する必要があります。

1 領域の数式化

形勢判断では、終局における地の大きさが、どの程度になるのかを予想します。この予想が可能な理由は、一手の価値が徐々に減少し、ゼロ値に収束する条件があるからです。

全局的な形勢予想の判断は、部分の形勢予想での合計で求められることとなります。